

1. 題材設定の理由

1年間、よりよいクラス・よりよい仲間づくりを目指してきた学級にとって充実感と満足感で締めくくりができるとよい。そこで、仲間と共に過ごす時間が残り少なくなってきたこの時期に、1年間の思い出を宝物として共有することでお互いの心の絆を強いものにするともに、最高学年に向かって自信と誇りをもって羽ばたこうとする気持ちを育てたい。

「このクラスでよかった」「こんなことができるようになった」「友だちがいたからできた」ことを思い出すポイントとして、次の3点からとらえさせたい。

- (1) 学級目標とのかかわりから
- (2) 学校行事や学年・学級の取り組みから
- (3) 仲間のがんばりや励まし合いの様子から

学級の宝物は自分の宝物でもあることを自覚させ、あたたかい雰囲気の中で次学年への進級の意欲にもつなげていきたい。

2. 指導のねらい

1年間のがんばりや高まりを認め合い、皆で喜び合うと同時に、6年生にむけての心構えがもてるようにする。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・帰りの会で学級の宝物探しを提案しておく。
本時	・「1年間の宝物」を自分で書いたり学級で話し合ったりしてがんばりを認め喜び合う。
事後	・全校の場（朝会、放送、掲示等）で発表する。

4. 関連指導の工夫

「わたしの宝物」「あなたの宝物」など、個人の良さやがんばりを認め合う場を持ちたい。1時間取れないときは、朝の会等を活用してトピックスでもよい。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・1年間の振り返り、自分なりに宝物を書くことができる。	◎この1年間の宝物を振り返りシートに書く。 (中央に一番の宝物を書く。その上に2番のもの、あと右回りの順に大切なものを書く) 「このクラスでよかった」 「友だちとこんなことをして楽しかった」 「みんなのできるようになった」	・家で考えてきたメモを活用する。 ・「学級目標とのかかわり」「学校行事や学年・学級の取り組み」「仲間のがんばりや励まし合いの様子」等を思い出して、一番の宝物を書き込むよう助言する。 ・全部埋められなくてもよい。	振り返りシート① ・学級の足跡の掲示物(写真、絵)  ノートのp6~7
課題：○年○組の1年間の宝物を探そう。				
中心の活動	・一番の宝物を発表し、選んだ理由(価値)を考えることができる。	◎シートの中から一番の宝物と思うものを発表し学級の1年間の宝物を探す。 <例> ・学級目標の心優しいアトムになれたこと。アきらめないうで、トもだちの良さを認め合い、ムずかしいことにも挑戦したから。 ・運動会のムカデ競争で心一つにして勝った。 ・学校一、歌声の美しい学級だ。 ・野外学習では、全員が頂上に登った。 ・小菊の世話を毎日続け、プレゼントできた。 ・誕生日を牛乳で乾杯するのがうれしかった。 ・毎朝気持ちの良い挨拶があふれるクラス。 ・友だちの良いところを見つけ名人がいっぱいいる。 ・クリーン大作戦を自分たちでやりきった。 ・アルミカン収集隊大活躍。 ・チャイムで勉強がスタートできるクラス。	・"一番の宝は～だと思ふ。理由は～だから。" "2番目は～"というように順序やその宝の値打ちを発表させていく。 ・個人のがんばりや協力し合えた仲間のすばらしさ、その時々感動を語らせ、喜びに浸れるようにする。(意図的指名) ・全校のみんなに知らせたい学級の宝物を選び、このクラスの一人であったことを喜び合う。 ・みんなを確認し合ったものをノートに記入させる。	・学級通信、日記、作文等  ノート②
まとめ	・宝物探しを通して、心の絆を強め、新たな心構えをもとうとする。	◎学級の1年間の宝物探しの活動を通して、自分が思ったことや考えたことをまとめる。6年生に向けて思うことも書く。(ノートに記入してから、発表する) <例> ・日先生の歌声に圧倒された初日。その後音楽係を中心に発声練習を繰り返し、美しいハーモニーで歌えたことはわたしにとっても宝物だ。 ・来年は6年生になるので、気持ちの良い挨拶を1年生のお手本としてがんばりたい。 ・○年○組のみんなと一緒にうれしかった。	・一人一人がこのクラスの一人であったことの満足感をもってまとめができるようにする。その子なりの表現でよい。短くてもよい。 ・思い出に浸るとともに、新しい学年への心構えももたせる。	ノート③

《説話例》 「このクラスでよかった」

今、たくさん宝物ができました。5年生の初日、ドキドキしていたのは皆さんだけでなく、先生もそうでした。先生が言うだけじゃれを笑ってくれる皆に安心し、勉強も運動も学級の活動も本当に真剣に取り

組みました。また、教え合い、練習し合って運動会や音楽会で、すばらしい結果を出しました。先生もこのクラスでよかったと心から思っています。みんなに会えてよかったと思っています。来年は、最高学年として学校みんなのよい手本となってくれると信じています。